



# 町長室だより

築上町長 新川 久三



桜や菜の花の時季が過ぎ、若葉の息吹く季節となりました。

5月1日、新天皇陛下下の即位により年号が「令和」となりました。

## 平成を振り返って

30年余続いた平成の時代を振り返ると、旧椎田町では文化会館コマーレの完成、国営での圃場整備事業、循環型農業の確立、旧築城町ではメタセの杜の完成、役場庁舎（現築城支所）の完成等が思い出されます。

そして平成18年1月10日、旧築城町と旧椎田町が合併して築上町が発足しました。新たな町としてスタートを切りましたが、財政は非常に厳しく、町民の皆様も窮屈な思いをされたのではないかと今でも考えています。財政改革に5年の月日を要し、ようやく健全な

財政が確保できたのではないかと  
も思っています。

両町の合併により、合併特例債（返済時に7割国が補填）を活用し、また地方交付税の優遇措置を受けながら社会資本の整備に着手しました。火葬場の建て替え、上下水道の整備、築城中学校の建て替えをはじめとする教育施設の整備、少子化対策としての子育て支援施策の実施などが、平成の築上町での主な出来事ではなかったかと追憶されます。

## 海外から百歳のお祝い

上日奈古の進春子さんが4月4日に百歳の誕生日を迎えられました。お祝いを朗読してお渡ししたところ大変喜んでくださいました。

進さんはアメリカで生まれ、太

平洋戦争のさなか26歳で日本に送還されました。「日本に来たときは苦勞の連続でした」と話されていきました。長生きの秘訣をお伺いすると「農業をしてきたからではないか」とも話してくださいました。

4日は、アメリカ、カナダ、イタリアと、世界各地から進さんの甥、姪とその関係者の総勢10名が勢揃いをしました。進さん、いつまでも元気で過ごしてください。

## 東京2020に向けて

東京2020年オリンピック・パラリンピックがいよいよ来年となりました。キャンプ誘致に全国の自治体が名乗りを上げ、本町でもオセアニア地域のオリンピックキャンプ誘致が決定し、すでにオセアニア地域のレスリング選手が本町で2回のキャンプを行いました。今後、パラリンピックのキャンプ誘致も行っていこうと考えています。誘致が実現した際には、関係者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



また、オセアニアレスリング連盟から招待を受け、4月21日からグアムに渡航することとしています。現地では、教育省訪問、州知事との対談、強化合宿の視察などを予定しています。

ここで一句

「平成の 御世の代わりは 若葉なり」

令和の年号を迎え、皆様にはご自愛頂き、益々のご活躍をご期待申し上げます。